



2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月30日

上場会社名 株式会社フィードフォース 上場取引所 東
 コード番号 7068 URL https://www.feedforce.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田 耕司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 西山 真吾 TEL 03 (5846) 7016
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績 (2019年6月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	918	—	247	—	218	—	165	—	60	—
2019年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 92百万円 (ー%) 2019年5月期第3四半期 ー百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	10.98	10.37
2019年5月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2020年5月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年5月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 2019年7月5日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2020年5月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

3. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	5,198	1,658	16.4
2019年5月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 851百万円 2019年5月期 ー百万円

(注) 2020年5月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年5月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,470	—	420	—	350	—	300	—	130	—	23.49

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 2020年5月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。
 3. EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）アナグラム株式会社、除外 1社
 （注）詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期3Q	5,593,400株	2019年5月期	4,943,400株
② 期末自己株式数	2020年5月期3Q	—株	2019年5月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期3Q	5,515,115株	2019年5月期3Q	—株

- （注）2019年5月期第3四半期会計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2020年1月にアナグラム株式会社の発行済株式総数の50.1%を取得し、2020年5月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績及び雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移したものの、2019年10月以降は消費税増税に伴う国内消費の落ち込みが見られることに加え、米中貿易摩擦や英国のEU離脱、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす影響に対する懸念があり、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。その一方で、当社の主要な事業領域であるインターネット広告市場は、利用者の増加やスマートフォン等の端末の普及に加え、企業等の活動におけるインターネットサービスの利用増加により急速に拡大を続けてまいりました。

このような経済状況のもと、当社では、「『働く』を豊かにする。～B2B領域でイノベーションを起こし続ける～」をミッションに掲げ、情報流通の最適化と効果的な広告運用サービス等を提供してきました。データフィード構築のために当社がこれまでに蓄積した膨大な商品・案件等のデータとその変換・更新ノウハウをもとに、企業が持つ情報を最適な形に加工し、ターゲットユーザーに対して適切な情報を適切なタイミングで適切なデバイスに提供することを実現してまいりました。また、当社は各デジタルプラットフォームと良好なリレーションを構築しており、その関係を活かし当社の複数のサービスを連携させることで、企業の顧客開拓支援に留まらずユーザーとの継続的な関係強化に資する包括的な支援に努めてまいりました。営業面においては、人員数及び組織的な管理体制の両面で強化を行い、新規取引先の開拓等の事業展開に対する販売促進活動に注力してまいりました。

また、通信環境やテクノロジーの発展に伴い多様化・高度化する広告形式に対応するための高度な専門性や知見の強化を図るべく、2020年1月にアナグラム株式会社を子会社化いたしました。これにより、両社が蓄積してきた専門性や知見を踏まえて既存のサービスにとどまらず、テクノロジーを活用したより高度なマーケティング支援体制を共同で開発・構築することにより、当社プロフェッショナルサービス事業におけるサービス領域の持続的な成長及び新たな展開を推進してまいりました。

なお、アナグラム株式会社については、2019年12月31日をみなし取得日として、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高918,633千円、EBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）247,911千円、営業利益218,715千円、経常利益165,095千円、親会社株主に帰属する四半期純利益60,556千円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(プロフェッショナルサービス事業)

主としてエンタープライズを中心とした顧客に対して、個々のニーズに応じたデータフィードの構築サービス「DF PLUS」、プラットフォーム等への広告運用受託サービス「Feedmatic」、サテライトサイトを生成・自動運用するSEO支援サービス「Contents Feeder」を提供しております。

また、子会社のアナグラム株式会社の業績は、2020年1月よりプロフェッショナルサービス事業のセグメント業績に含めております。当第3四半期連結累計期間においては、既存取引先との取引をベースに安定的な受注を確保できたことにより、順調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高572,796千円、セグメント利益191,396千円となりました。

(SaaS事業)

データフィードの作成、管理及び最適化を広告担当者自身で行うことができるデータフィード統合管理サービス「dfplus.io」、ECサイトの商品情報を元に自動で最適化した広告を出稿することができる広告配信サービス「EC Booster」、並びにSNS登録情報を利用したWebの会員登録・ログインやダイレクトメッセージ送信による顧客リーチのサポートサービス「ソーシャルPLUS」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、各サービスで順調に新規案件の獲得及び売上単価の増加による売上げの積み上げができたことにより、売上高345,836千円、セグメント利益27,318千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,198,352千円となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産合計は、3,458,250千円となりました。この主な内訳は、現金及び預金2,029,311千円、売掛金が1,049,900千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産合計は、1,740,101千円となりました。この主な内訳は、顧客関連資産1,075,766千円、のれん466,240千円、投資その他の資産155,717千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債合計は、1,498,434千円となりました。この主な内訳は、買掛金808,783千円、短期借入金200,000千円、1年内返済予定の長期借入金170,000千円、未払法人税等164,981千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債合計は2,040,932千円となりました。この主な内訳は、長期借入金1,680,000千円、繰延税金負債360,932千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,658,985千円となりました。主な内訳は、資本金443,850千円、資本剰余金433,658千円、利益剰余金△26,145千円、非支配株主持分807,622千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期通期の連結業績予想につきましては、2020年3月30日に公表いたしました「営業外費用の計上及び連結決算開始に伴う連結業績予想の公表並びに個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年2月29日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,029,311
売掛金	1,049,900
その他	385,357
貸倒引当金	△6,318
流動資産合計	3,458,250
固定資産	
有形固定資産	42,376
無形固定資産	
のれん	466,240
顧客関連資産	1,075,766
無形固定資産合計	1,542,007
投資その他の資産	155,717
固定資産合計	1,740,101
資産合計	5,198,352
負債の部	
流動負債	
買掛金	808,783
短期借入金	200,000
1年内返済予定の長期借入金	170,000
未払法人税等	164,981
賞与引当金	23,713
その他	130,957
流動負債合計	1,498,434
固定負債	
長期借入金	1,680,000
繰延税金負債	360,932
固定負債合計	2,040,932
負債合計	3,539,366
純資産の部	
株主資本	
資本金	443,850
資本剰余金	433,658
利益剰余金	△26,145
株主資本合計	851,362
非支配株主持分	807,622
純資産合計	1,658,985
負債純資産合計	5,198,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	918,633
売上原価	324,424
売上総利益	594,208
販売費及び一般管理費	375,493
営業利益	218,715
営業外収益	
受取利息	11
受取配当金	0
助成金収入	1,710
その他	120
営業外収益合計	1,842
営業外費用	
支払利息	5,678
持分法による投資損失	3,194
株式交付費	5,486
支払手数料	38,562
上場関連費用	1,687
その他	853
営業外費用合計	55,462
経常利益	165,095
税金等調整前四半期純利益	165,095
法人税、住民税及び事業税	85,901
法人税等調整額	△13,736
法人税等合計	72,165
四半期純利益	92,929
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,556

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	92,929
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	-
四半期包括利益	92,929
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	60,556
非支配株主に係る四半期包括利益	32,373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月5日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、それに伴い2019年7月4日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行650,000株により、第1四半期連結会計期間において資本金が343,850千円、資本準備金343,850千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金443,850千円、資本準備金433,658千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の変更

当社は、当第3四半期連結会計期間にアナグラム株式会社の株式を取得し、子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、アナグラム株式会社は当社の特定子会社に該当していません。

(2) 持分法適用の範囲の変更

当社は、第2四半期連結会計期間に株式会社アンノウンの株式を取得し、関連会社としたことに伴い、第3四半期連結会計期間より同社を持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自2019年6月1日 至2020年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッショナル サービス事業	SaaS事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	572,796	345,836	918,633	—	918,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	12,780	12,780	△12,780	—
計	572,796	358,616	931,413	△12,780	918,633
セグメント利益	191,396	27,318	218,715	—	218,715

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

プロフェッショナルサービス事業において、当社がアナグラム株式会社の株式の50.1%を取得したことにより、同社を当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。これにより、当第3四半期連結会計期間末ののれんの金額が466,240千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。